

表 - 1 カンボジアに対する運輸（道路・橋梁）分野協力評価の枠組み

評価の視点	評価手段	評価項目	評価指標	情報源	情報収集先
I. 目的	目的体系図	目的の妥当性			
		(1) 当該分野におけるプログラムの目的はわが国の援助政策・計画と整合性がとれていたか？	* カンボジア国別援助方針・計画との整合の度合い	・国別援助計画または方針 (ODA 白書:92-01、インタビュー)	・外務省、大使館
		(2) 当該分野におけるプログラムの目的はカンボジアの開発計画・ニーズと整合性がとれていたか？	1) カンボジア政府の開発計画との整合の度合い 2) 他ドナーが把握していたカンボジア政府のニーズとの合致の度合い	・国家復興開発計画(94-) ・第1次社会経済開発計画(96-00) ・第2次社会経済開発計画(01-05) ・運輸セクター計画 ・国家貧困削減戦略 ・公共投資計画 ・CAS(世界銀行), CSP(アジア開発銀行) 等	・外務省、大使館 ・JICA ・計画省 ・公共事業・運輸省 ・世界銀行 ・アジア開発銀行
II. プロセス	フロー・チャート	1. プログラム策定プロセスの適切性			
		(1) 個別事業の要請前に本分野の援助の方向性について検討・協議されたか？	* 協議の有無、参加した組織・関係者（わが国・カンボジア政府、他ドナー等）、協議内容	・関係者インタビュー ・予備調査・基本設計調査報告書等	・外務省、大使館 ・JICA(本部・現地事務所) ・カンボジア政府、他ドナー
		(2) 後続の事業の要請・採択・審査時にはそれまでの計画・実施事業の成果をより増大させるように意図されたか？	* 増大させるためのシステムの有無と適用	・関係者インタビュー ・予備調査・基本設計調査報告書	・外務省、大使館 ・JICA(本部)
		(3) 要請された後で自己資金プロジェクト、他ドナーへの要請プロジェクトとの重複が判明しなかったか？	* 重複の程度	・関係者インタビュー	・カンボジア政府、他ドナー
		(4) プログラム目的を達成するための代替案は検討されたか？	* 代替案検討の内容	・予備調査・基本設計調査報告書 ・関係者インタビュー	・JICA(本部・現地事務所)
		(5) 各事業の要請・採択・審査は上位計画の変更、他ドナーの援助計画の変更にフレキシブルに対応したか？	* 変更回数と対応回数の比	・関係者インタビュー ・予備調査報告書、基本設計調査報告書	・外務省、大使館 ・JICA(本部・現地事務所) ・カンボジア政府、他ドナー
		(6) プログラム全体・他ドナーの関連プロジェクトが並行して実施されることにより生じる外部条件の変化・リスクは考慮されたか？	* 外部条件・リスクの把握度合い	・予備調査報告書、基本設計調査報告書	・JICA(本部・現地事務所) ・カンボジア政府、他ドナー
		2. プログラム実施の適切性			
		(1) プログラムに含まれる事業はタイミング良く、スムーズに実施されたか？	* 事業間のスケジュールの整合性	・JICA 文書(基本設計調査報告書、総合報告書) ・関係者インタビュー	・JICA(本部・現地事務所) ・カンボジア政府

評価の視点	評価手段	評価項目	評価指標	情報源	情報収集先
		(2) プログラムに含まれた事業は連携良く実施されたか？	* 連携の内容と度合い	・基本設計調査報告書、総合報告書 ・関係者インタビュー	・JICA(本部・現地事務所) ・カンボジア政府、他ドナー
		(3) プログラムの実施は他ドナーの関連事業の実施状況とうまく連携したか？	* 連携の内容と度合い	・基本設計調査報告書、総合報告書 ・関係者インタビュー	・JICA(本部・現地事務所) ・カンボジア政府、他ドナー
		(4) プログラム全体・他ドナーの関連プロジェクトが並行して実施されることにより生じた外部条件の変化・リスクへの対応は適切であったか？	* 外部条件が満たされないケース・リスク発生時の対応内容	・基本設計調査報告書、総合報告書 ・関係者インタビュー	・JICA(本部・現地事務所) ・カンボジア政府、他ドナー
III. 結果		1. プログラム目的（サブ目的）の達成度 2. プログラム実施の効果（直接的な効果） 3. 地域経済・社会開発への影響（期待されたインパクト） 4. マクロ経済への影響（全国レベルでのインパクト） 5. 負のインパクト 6. 自立発展性	（表 - 28 参照）		